

私もまちの一人として

北方町立南学園 四年 村瀬 愛友良

「あつ、愛友良ちゃん？」

お友達と遊んでいると、だれかが私の名前をよびました。

ふり返ると、こども館で仲良くなった赤ちゃんとお母さんでした。

ぐうぜん出会えた事がうれしくて、赤ちゃんをあやしたり、お母さんと少しお話をして、その時はバイバイしました。せ中をむけていたのに、私に気づいてくれて、話しかけてくれたと思うと心があたたかくなりました。

その親子と知り合えたのは、こども館でかいさいされた、「赤ちゃんと遊ぼう」という行事のスタッフをやってみないかと先生に声をかけてもらった事がきっかけでした。

私には、弟や妹がいなくて、赤ちゃんと遊んだりお世話したりできるか不安でしたが、さんかしてみると、赤ちゃんが、ニコニコしてよってきてくれました。また、お母さんから、

「いっしょに遊んでくれてありがとう。」

「また遊んでね。」

と言われて、自分でも役に立てたことがうれしかったです。

それから、私は色々な行事にせっきよく的にさんかするようになりました。町内いっせい美化運動や、こども館のおたん生日会スタッフ、夏祭りスタッフ、人形げきで役をえんじることもありました。清流フェスティバル、未来タウンでは、けん玉教室に来てくれた子にけん玉

を教えてあげることもありました。

そのたびに、あたたかく見守りながら教えてくださるこども館の先生がいて、いっしょにスタッフをする仲間もできて、イベントにさんかしてくれた赤ちゃんやお母さんだけではなく、お年よりの方とも出会うことができて、北方町にいと知り合いがたくんいるという安心感を感じました。

私の学校では、「地いきの行事にさんかしたよカード」というものがあります。地いきの行事にさんかするとスタンプがもらえるカードです。私はせっきよく的に行事にさんかしたので、すぐカードがいっぱいになり、今、二まい目です。

このカードは、私がたくさんの人とかわってきたというアルバムみたいなもので大切にしています。

こんなきちょうなけいけんのきっかけをくださった、こども館の先生や私といっしょに楽しくきょう力してできた仲間、そしてかわってくださった地いきの方に感しゃして、これからも北方町の人とかかわってコミュニケーションをとっていききたいです。

私は思いました。

北方町に住んでいてよかった。北方町大好き！